

第1回第二中学校区地元代表者協議会 会議録

1 日 時 令和5年2月14日（火）18時30分～20時20分

2 場 所 第二中学校 ラーニングセンター

3 出席者 (1) 委員 23名
(2) 事務局 教育指導部長 山口 玲子
教育総務課長 高橋 利明
学校教育課長 植木 修
学校教育課適正規模適正配置推進主幹 森谷 純
学校教育課適正規模適正配置推進室長 樋口 進一
学校教育課主事 田村 美佐保

4 内 容

- (1) 開会
- (2) あいさつ (山口教育指導部長)
- (3) 自己紹介 (委員および事務局)
- (4) 地元代表者協議会の概要について
- (5) 会長及び副会長の選出 (会長：伊藤好宏委員、副会長：吉田久美子委員)
- (6) 統合に係る意見書の取りまとめについて
- (7) 協議
 - ①米沢市立学校適正規模・適正配置推進等基本計画について
 - ②地元代表者協議会の進め方について
 - ③統合に向けての意見について
 - ④その他
- (8) 第2回協議会の開催日程について
- (9) 閉会

(7) 協議について

(会 長) 初めに「米沢市立学校適正規模・適正配置推進等基本計画について」事務局から説明してください。

《事務局から説明》

(会 長) ただ今の説明について、質問はいかがか。

(委 員) 確認だが、地元代表者協議会の設置要綱では、学校再編に関する事、学校の設置場所に関する事、通学に関する事、その他について協議すると書いてあるが、会の説明で、学校の設置場所に関しては、すでに校舎設置について説明されているので、これは含まないということでもいいのか。

(事務局) 設置要綱の方では、地元代表者協議会で協議していただき、意見として取

りまとめていただきたいものとして、項目を例示させていただいています。他にもいろいろな意見があると思うので、あくまでも例示として見ていただければと思います。また、設置場所については、(仮称)南西中については、二中敷地内に校舎を新設することとしているので、その前提で、校舎建設に関しご意見があれば出していただければありがたいです。例えば、設置場所として違う場所への建設といったことを協議することは想定していないので、よろしくお願いします。

(委員) 今日の話はまだ頭に入ってこなくて、みなさんもどんな意見を言っていいのか戸惑っているかと思う。私は、先日もこの話をお聞きしていたので確認になるけれども、実際に、校舎の耐用年数というのはどのくらいなのか。新しく学校を建てると認識していたが、よく読むと統合後に19クラスというのは、今の校舎でも全部入るクラス数ではないかと思う。古いから建て替えるというのならいいのだが、今の校舎は、あとどのくらい持つのか。補強しながら何年くらい持つのか、その点も含めて教えてほしい。今後、建設して使うとなると、使用するところがかなり限定的になると思う。例えば、グラウンドとか体育館とか。できるだけ建て替えも何もない状況ですむのが子ども達にとってはいいのではないかと思っている。そのあたりについて説明いただければと思う。

(事務局) 今の二中の校舎は、きちんと管理されており、部分的に補修はしているので、現在、授業等をするにあたり大きな影響はない状況である。ただ、やはり建設してから相当年数がたっていることから、あちらこちらがいたんでいる。今後、十何年使い続けることができるかとなると、維持管理のために要する補修費用や大規模改修費用も相当かかることになり、その点を勘案し、統合にあわせて新しい施設を整備する計画を立てたところです。

(委員) 基本的にあと何年もつかというようなところかと思うのだが、そのところは、前回話をしたときに、これからの二十年間でさらに子どもの数が半分になるという話もあり、もう一度、学校を再編整備するとなると、この形でいいのかということも含めて、私としてはあまりお金をかけなくてもいいのかなと思ったところもあった。できるだけ、子ども達に負担のない形で進めていただけるといいのかなと思ったところである。

(事務局) 施設として、あと何年持つのかといった点についてお答えするのは難しいですが、基本的に大規模改修にお金をかければ、寿命が延びるということは言えると思う。ただ、それがはたして、学校施設として、日常的に安全をど

ここまで担保できるかということが懸念される。施設の状況、改修の必要な内容、あるいは不具合が出てくる可能性のある個所はどこかということを見極めながらという形になるので、将来に向けてのリスク想定の部分も考えた場合、やはり新しい中学校を建設したほうが、より安全な学校生活を送っていただける環境という点からは望ましいという考えで、今回の新設計画を進めさせていただきたいと考えています。

また、これからの統合について、ロードマップの進められるのかというご質問もいただいたと思いますが、現時点で、この基本計画に基づいたロードマップを作成しているもの。現時点における将来像としては、このような統合の形を想定しているものです。先ほど少子化の状況についても説明させていただいたところですが、やはり、相当少子化が進んでいる状況であり、令和11年度までの数字しかでていませんが、その先の十年、二十年先を見たときにどのような形がいいのかについては、その都度見直しをしていく必要があると思います。あくまでも、今想定している統合の形は、現時点での子どもの見込み数を踏まえた上で、より良い形の教育環境をどう維持していくのかといった視点で設定させていただいているものです。

(委員) 資料2の下の方にある設置計画について、現在のグラウンドの南側に床屋さんがあると思うのだが、そこはそのまま残るようなイメージなのか。

(事務局) 南側の床屋さんのある土地については、そのまま残る。今と同様に学校の敷地には入らない形です。

(委員) (仮称)南西中の体育館に冷暖房が入るとのうわさを聞いていたが、最近の物価高騰によりつけられないといううわさも耳にした。これから造っていく施設なので、コスト面も考慮して、ぜひ子どもたちが活動しやすい環境にさせていただきたいと思う。市営体育館も真夏の大会で体育館を使うと救急車で運ばれる人も出るという状況もあったので、ぜひ、そのあたりも市の方で予算を頑張っていたらと思う。

(事務局) 現在の計画だと、体育館については、冷房は厳しいというのが正直なところです。ただ、武道館の方には基本的に冷暖房の空調整備をつけたいと考えています。ご承知のとおり資材等もかなり高騰しており、建設費用も高上がりになっているので、今後の情勢にもよりますが、実施設計を進めていく中でどういった形が、一番効率的で、生徒のみなさんに快適に過ごしてもらえるか十分検討させていただきたいと思っています。

(委員) 統合中学校は学区が当然広域になるので、遠い子どもたちはスクールバス

などを利用すると思うが、過日、地区のスポーツ協会で話になったのだが、だいぶ競技力が落ちてきており、今後、部活動は地域に任せるという形になると部活動をやっていない子どもはバスに乗って帰るけれども、部活動をやっている子は何らかの形で家の人に迎えに来てもらって自宅に帰ることになるのだろうか。冬場になったらどうするのだろうかという話も出ている。私は個人的にソフトボールをやっていて、今まで競技への補助もあって、県大会でも活躍できている。今後、学校として、冬場の送迎に関してはどんな形で送迎をしたり、バスをまわしたりするのか。子ども達の安全を確保することから疑問なところである。

(事務局) 国でも部活動の地域移行ということで、当初は、令和5年度から3年間で、まずは休日の部活動について地域移行という方針をだしていたが、先月あたりから3年間ということではなく、全国各地さまざまな状況があるので、もうちょっと長い目を見て、どういう形でできるのかということ各地区で考えるようにと、国から通知があったところである。教員の働き方改革ということが前面にだされているが、まずは、休日の地域移行はどうかについての検討をしないといけないと思っています。教育委員会としては、競技団体の方とこれから実際どういう形でやっていけるのかという協議のご相談をさせていただければと思っていますが、まずは、平日についてはというよりは、休日をどうするかということからスタートしなければと思っています。

仮に、この先、何年か経ったときに、例えば、平日の部活動についても地域への移行ということを協議しなければならない段階はくるのではないかと考えています。国もそれを想定しているので、そうなったときに、学校からの下校時間については、子どもの安全性を考えていかなければならないと思っています。

(仮称)南西中については、現在、二中でもやっているけれども、下校後すぐスクールバス等を利用する子については、下校時間にあわせて学校が終わった時間帯で1便出ることとしており、部活動が終わったもう少し遅い時間に、第2便ということでバスを出します。そういう形で、子どもたちの帰る時間にあわせてバスを出すことは十分可能です。また、建設期間においては、部活動の場所も二中を使えないということで、外に出なければいけない部活動もでてくるので、そういった場合については、スクールバスやタクシーを利用したりしながら、遠くで活動する際においても、活動時間が短くて練習できないという状況にならないようにしていきたいと考えています。

(委員) 準備期間中の影響はあると思うのだが、グラウンドを使用できない令和6年から9年度まで、小学校では愛宕小や松川小、南部小のグラウンドを共用して使う計画のようである。小学生と中学生は体格も力も全然違うし、授業で使う場合はスケジュールをあわせて計画を立てるかと思うのだが、例えば、部活動で小学生が歩いているところで、中学生が蹴ったボールがあたるとかそういったことも危惧してしまう。そのへんのところ、どう考えているのかお聞きしたい。

(事務局) 代替のグラウンドということで、愛宕小、南部小、旧南原中グラウンドを記載しています。もちろん、日中の体育の授業については、小学校とも調整しながら実施したいと思っています。また、例えば、部活動で使うというときにも小学生に影響がでないように安全性には十分配慮していきたい。

また、令和8年度に統合することになるので、令和8～9年度については三中のグラウンドも使えると考えています。なお、体育館については、現在の二中の体育館を使いながら、建設が進むということになるので、体育館については引き続き使えます。小学生にも不安のないように進めていきたいと考えています。

(委員) 先ほど体育館の質問があったと思うが、体育館の方には、ピロティのようなものは建設する計画があるのか。

(事務局) ピロティを整備する方向で設計を進めているところです。

(会長) 次に(2)の「地元代表者協議会の進め方について」説明をお願いします。

《 事務局から説明 》

(会長) 今の説明について、質問や意見はいかがか。

《 質問なし 》

(会長) 次に(3)の「統合に向けての意見について」説明をお願いします。

《 事務局から説明 》

(会長) 今の説明について、質問や意見はいかがか。

《 質問なし 》

(会長) 次に(4)の「その他」について何かありますか。

(委員) 次回の会議の日程について、開始時刻や会議時間の目安がわかれば集まりやすいと思うので、お聞きしたい。

(事務局) 本日は説明が多く、かなりの時間、説明になってしまいました。説明については、今回ほとんどさせていただいたので、2回目以降の会議では、皆さんの様々なご意見を出していただく場になると思います。開始時刻は、18時30

分で、会議時間は、おおよそ1時間半くらいと考えています。そのような時間帯で開催させていただければありがたいと考えています。

(会 長) 他に質問はいかがか。無ければ、以上で協議終了する。ありがとうございました。